

スナイプトレード

笹田 喬志





スナイプトレードは環境認識がかなり重要

環境認識は1H、4H、日足のいずれか、主に4Hを僕は使っている

トレンド判断・・・ダウ理論

サポレジ判断・・・過去の高値安値、2本の移動平均線

移動平均線について解説します



移動平均線

略称、MAと呼ばれる

価格がMAから乖離が起これると収束する動きをしやすく、MAに収束していると乖離する動きが起これやすい

トレンドフォロー時は原則としてMAから乖離が起これている状態ではトレードはしないのが僕にとっては基本

移動平均線はサポレジとしても機能しやすい



僕の場合は、20SMAと20EMAを表示

20SMAと20EMA、同じ値だけでも違う種類のMAを使うことでサポレジのゾーンが出来る

そのゾーンに入ってきたらサポレジになりやすいという判断

また重なっている場合は、ピンポイントで見る

そこに水平線を併せて見ていくことで、機能しやすいサポレジを探す

裁量判断のサポレジと、可視化されたサポレジを見ることで待つポイントを明確にする



3波目に優位性がある

環境認識に3波目も加えると勝率アップにつながります

トレンドはどこまでも続くものではないので、なるべく初動を捉えるほうがトレンドは高確率で継続しやすい

どの時間足でも3波目まではトレンドが起こることが多いので、良い状態の相場を見つけて3波目を狙うことで勝ちやすくなる



3波目を狙うために必要なのは「反転の可能性の判断」

相場が反転した可能性があるなーと見たら3波目を狙ってスナイプトレードの準備をする

反転の可能性を判断するには

- ・ 上位足のサポレジ
- ・ ダイバージェンス



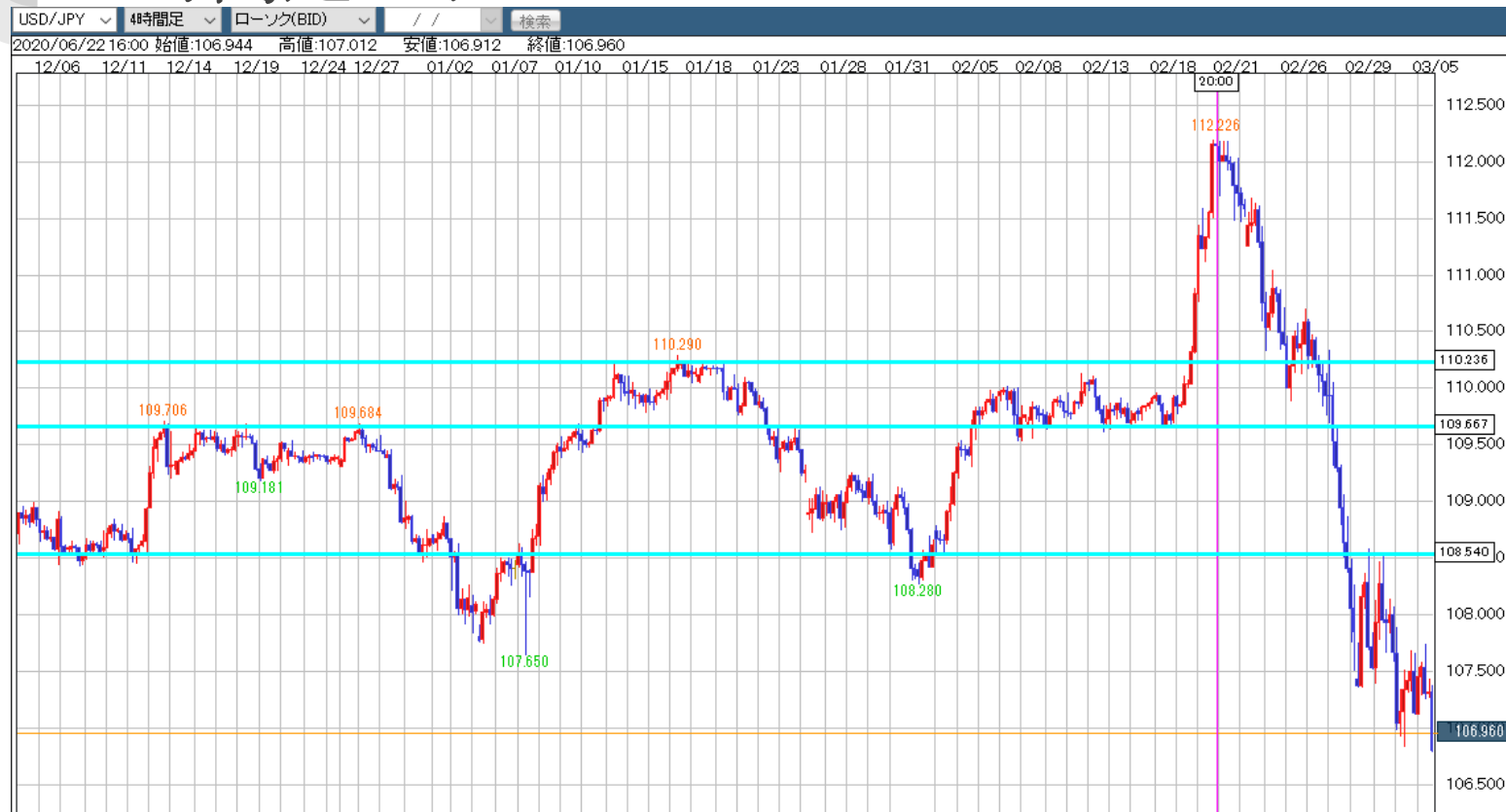
上位足のサポレジ

トレンドが反転するためには、今トレンドを判断している時間足より大きい時間足のサポレジが必要

同じ時間足のサポレジにはトレンドを変える力はない

反転を見るためには上位足のサポレジを確認すること

4時間足のサポレジ



週足のサポレジ





ダイバージェンス

- ・ 価格は上昇しているのに、オシレーターは下落している
- ・ 価格は下落しているのに、オシレーターは上昇している

高値更新しているのに相場の勢いを表すオシレーターが勢いがなくなっているとトレンドが転換する可能性がある

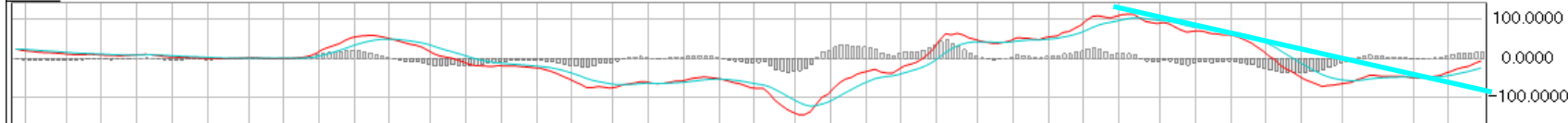
MACDが反応が遅いためダマシが少なく、個人的には推奨

USD/JPY 4時間足 ローソク(BID) 検索 通常線

2020/06/22 16:00 始値:106.944 高値:107.012 安値:106.912 終値:106.967



MACD: MACD[12-26]-9.8773 シグナル[9]-11.9776 乖離2.1003





エントリールール

エントリー時間足は環境認識の時間足から2つ落とすのを基本としています

4時間足で見ていたら30分足という具合

エントリートリガーは

- ①主要な高値安値をブレイクしたら
- ②または20EMAを終値でブレイクしたら

後者が検証しやすいのでおすすめ



決済ルール

直近の高値や安値に到達したら決済

リスクリワード 1 : 1. 2 くらいになることが多い

基本的にはpipsは大きく狙わない

大きく狙うと勝率が下がるし、検証からの再現性を持たせたルールになりにくい

ボラティリティも基本的にそんなに大きくない場合が多いので、その辺りが丁度いい

ただし、大きな時間足のトレンドの初動を掴めたら伸ばすほうを意識する

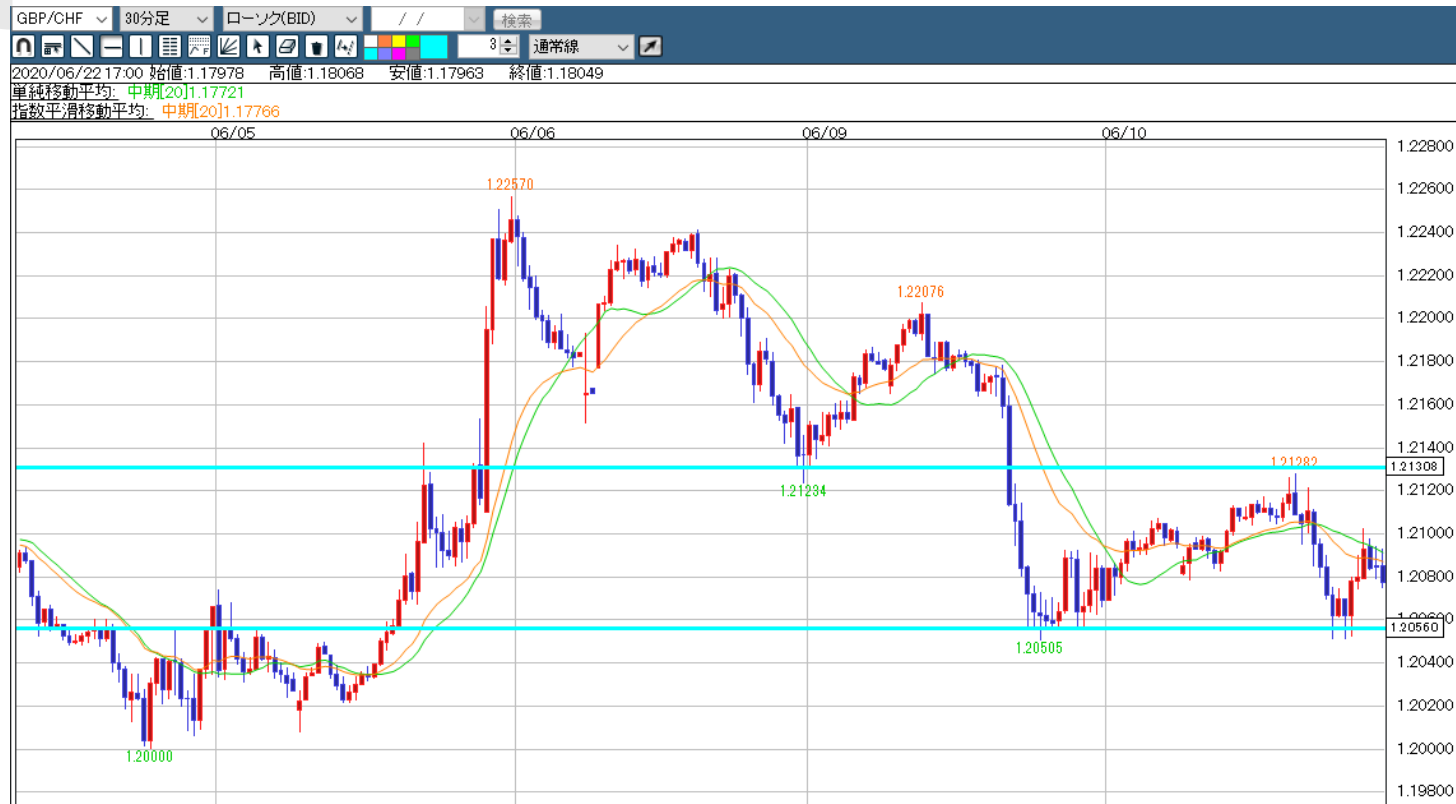
トレードしたところの解説



4時間足



30分足



<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生の可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：JFX株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：関東財務局長（金商）第238号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1503